とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0550
施設名	旭保育園
施設所在地	板橋区大山金井町56-1
法人名	社会福祉法人昭和会

1．活動のテーマ

＜テーマ＞

運動

＜テーマの設定理由＞

園舎内にある体操指導で使える広さのホールを生かし、運動やプール活動を通して身体機能の向上させ、園児の興味関心を刺激しながら主体的な探究活動を促します。

2．活動スケジュール

令和7年4月から令和8年3月まで
毎週水曜日の体操指導　4・5才児クラス

3．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

ホール内には跳び箱、マット、巧技台、ボール、安田式遊具（鉄棒、平均台、エアマット）などを常に配置してあります。
夏には屋上に鉄骨で組むプールを設置します。

4．探究活動の実践

＜活動の内容＞

4・5才児を対象に、体操指導の講師による活動を実施しています。マットや跳び箱、運動会に向けた練習に取り組みながら、子どもが自ら動きを考え、繰り返し挑戦できる内容としています。5才児については、年度末のドッジボール大会に向けたカリキュラムも行っています。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

「こうやったらできた」「次は違うやり方でやってみよう」など、自分なりに考えて取り組む姿が見られます。友達の動きを参考にしたり、声を掛け合ったりする中で意欲が高まっています。体操指導講師や保育者は見守りながら、子どもの気づきや挑戦に寄り添う関わりを行っています。

5．振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

講師の指導の中でも、子どもたちは自ら考え試すことで意欲を高めていくことが分かりました。特に5才児は、ドッジボール大会という目標があることで、動きの工夫や友達との連携への意識が高まっています。主体的に取り組める環境づくりの重要性を再認識しました。